

# ○●○ 卒業証書授与式 式辞

(文責) 学校長 河北光弘

式辞に先立ちまして、令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた皆様の御冥福をお祈りしますと共に、被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。

## 式 辞

暖かな光、日浦山に吹き抜ける風、春の息吹を感じられる季節になりました。

この春の良き日に、海田町町長竹野内啓佑様、海田町議会副議長崎本広美様、海田町教育委員会教育長職務代理者林孝様をはじめ、多数の御来賓、保護者の皆さまの御臨席のもと、第七十七回卒業証書授与式を挙行できますことはこの上もない喜びであります。

厚くお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

卒業証書は、三年間の中学校生活を修了した証明であると共に、九年間の義務教育の終わりを告げるものです。

立派に成長し、大切な節目となる今日を無事に迎えられたことは、皆さんの努力はもちろんです。家族の皆様をはじめ、先生方、地域の皆様、応援して下さった全ての人の支援のお陰でもあります。

どうか、巣立ちゆく今、感謝の思いを伝えてください。

さて、大きな期待と小さな不安を胸に入学した日から三年、本当にたくさんの方があったと思います。

コロナ禍の真ただ中、スタートした中学校生活。

入学してから、令和五年五月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の五類に位置付けられるまでの間、学校行事や様々な活動の規模が縮小されたり、中止になったりするなど、悲しい思いや悔しい思いを持たれた人も多かったと思います。

そのような中でしたが、皆さんは、先輩方の思いを受け継ぎ、いつも明るく、前向きに、授業や部活動、体育祭、文化祭などの様々な活動に挑戦し続けてきました。その姿は、清々しく、素敵でした。これらの経験は、これから出会ういくつもの困難に向かって、仲間と協働して、乗り越えるために、生きてくると思います。

近年、世界の中の対立は、その重みに耐えかねたように、大きく動き始め、世界情勢は一変しました。また、毎年のように起こる自然災害、かけがえのない命が失われ、暮らしている街が破壊され、人々を苦しめています。

私たちは、そのような大きな問題にどのように立ち向かっていけばよいのでしょうか。

大きな問題に立ち向かった、一人の日本人を紹介します。

福岡県出身の医師、中村哲先生です。

中村先生は、医師としてペシャワールに行き、医療分野を支えていました。そして、大干ばつにより水が枯渇し、生きることが困難になったアフガニスタンの人々の命を救おうと、二十五キロメートルに及ぶ用水路を掘って、荒地や砂漠を潤し、緑に生まれ変わらせ、人が住めるような土地にする活動を長きにわたって続けてこられました。残念ながら、令和元年十二月四日に銃撃されて亡くなりました。

遠い外国の地で、医師である中村先生が、なぜ二十五キロメートルにも及ぶ用水路を整備し、多くの人々の命を救うような大きな事業を成し遂げることができたのでしょうか。

中村先生は、生きるために大切なこととして次のことを言われています。

「『一隅を照らす』という言葉があります。一つの片隅を照らすということですが、それで良いわけでありまして、世界がどうだとか、国際貢献がどうだとかという問題に煩わされてはいけない。それよりも自分の周り、出会った人、出会った出来事の中で、人として最善を尽くすことではないかというふうに思っています。」

中村先生に大きな力があつたわけではありません。中村先生の現地の人たちの命を救いたいという思い。その思いが片隅の光となり、周囲の人々に伝わり、周囲の人々が自分たちの置かれた環境でできることをして、さらに片隅に光を灯して、その光が広がっていくことで、荒れた土地に二十五キロメートルに及ぶ用水路を整備できたのです。

卒業生の皆さん、これから先、一人一人の進む道は異なります。どの道を進もうとも、海田中学校で学んだ、「よりよく生きる」ためにはどのようにすればよいか、自ら考え、判断し、行動する「自律」、お互いを唯一絶対の存在として大切に「尊重」、失敗から学び続ける「挑戦」の「自律・尊重・挑戦」を胸に、その場、その状況で、自分でできる最善を尽くしてください。そうすることで、片隅の光は広がり、世界を明るくし、よりよい世界を創っていくことになるでしょう。

卒業生の皆さん、「一隅を照らす」ことを胸に止め、自らの人生を切り拓いていってください。

私たちはいつまでもいつまでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございませす。

心からお慶びを申し上げますと共に、これまでお寄せいただいた皆様方の御支援・御協力に厚く感謝を申し上げます。また、本日御臨席していただきました御来賓の皆様方に対しましても、これまでのあたたかい御支援に心より感謝を申し上げます。

百六十九名の卒業生の前途に幸多かれと祈り、式辞といたします。

令和六年三月三日

海田町立海田中学校長 河北 光 弘